

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	<b>11</b>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<b>2</b>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<b>6</b>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<b>11</b>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3970900092
法人名	有限会社 岸本グループ
事業所名	グループホーム 宿毛の里
訪問調査日	平成20年9月30日
評価確定日	平成20年11月18日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970900092		
法人名	有限会社 岸本グループ		
事業所名	グループホーム 宿毛の里		
所在地 (電話番号)	高知県宿毛市二ノ宮平井上1795番地 (電話) 0880-62-0222		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年9月30日	評価確定日	平成20年11月18日

## 【情報提供票より】(平成20年8月18日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年12月25日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 10 人、非常勤 2 人、常勤換算 11 人	

## (2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄筋平屋造り	
	1 階建ての	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	11,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

## (4) 利用者の概要(8月18日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	6 名	要介護4	7 名
要介護5	1 名	要支援2	名
年齢	平均 84.9 歳	最低 71 歳	最高 97 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田村内科クリニック 本田歯科
---------	----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然あふれる静かな田園地帯の中に位置し、有料老人ホームに隣接した施設である。清潔感あふれる施設で、利用者と職員が共にゆっくり生活している。利用者の高齢化や認知症が進行する中で、今までできていた事ができなくなってゆく利用者の気持ちを基本理念に基づいて全職員が理解するとともに、職員2人一組で、5つのクラブ(食事、おやつ、演芸、美化、レク)を作り、クラブ活動を通して利用者の役割、楽しみ方を引き出すことに力を入れている。1カ月に1回の定期通院は管理者が同行し、主治医とは相談できる関係が築かれており、常に利用者の身体状況を把握している。毎月家族に手紙で状況報告もしており、家族から安心の声が聞かれる。地域との連携も図り、より一層地域に根ざした施設を目指している。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価の改善課題は、①地域密着型理念、②地域とのつきあい、③評価の意義と理解、④家族会の活動、⑤日々の暮らし、⑥外出支援、⑦災害対策であり、改善計画を立て、①から⑥は早期に改善している。⑦の災害対策については、地域住民の参加、協力が得られるよう、働きかけることが期待される。</p>
重点項目①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	<p>自己評価については、項目ごとに分担して取り組み、それを基に全職員で話し合い作成している。評価の意義についても理解しており、運営者にも報告している。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かして取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	<p>事業所からは状況や活動内容の報告を行い、参加メンバーからは質問や意見が出され、双方向的な会議になっている。外部評価の結果報告、改善課題についても報告し、改善に取り組んでいる。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	<p>家族会は年2回(9月、12月)ホームの行事に合わせて開催している。今まで特に意見や苦情が出ていないため、運営推進会議のメンバーである家族会会長と話し合い、次回の家族会には、意見や相談など各家族に課題を持ち寄ってもらうように取り組んでいる。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>ホームの行事にはボランティアの方々に参加し、保育園児や小学生の訪問も時々ある。また、地域住民から野菜の差し入れもあり、地域との交流に努めている。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域の中で豊かな人間性が保てるよう支援する」という、地域密着型を意識した独自の理念を作っている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 タイムカードの機械の前やロッカーに理念を貼って、毎日理念を意識できるようにし、ケアの提供をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 「○○してください」ではなく、「手伝ってくださいますか」と声かけをするなど、利用者を中心に物事を考え、生活のペースも利用者にあわせ、常に言葉かけや対応について配慮している。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会には加入していないが、地域との交流はある。現在、加入を検討中とのこと。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 ホームにはボランティアの人、保育園児、小学生などの訪問があり、また、地域住民から野菜の差し入れもあるなど、地域との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 自己評価は、職員が項目ごとに分担して取り組み、それを基に全員で話し合い作成している。評価の意義についても理解しており、運営者にも報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価の結果は月例会や職員会で話し合い、改善計画を立て、職員全員で取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
	5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業所からは状況や活動内容の報告を行い、参加メンバーからは質問や意見も出され、双方向的な会議になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>外部評価の結果報告、改善課題についても報告し、改善に取り組んでいる。</p>		
	6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>市の保険介護課にホーム運営上の相談を行い、助言や指導を受けるなど交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制						
	7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族来訪時にはホームでの生活等の状況を伝えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えてい</p> <p>毎月の請求書送付時に、健康状態や暮らしぶりについての手紙を同封している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>緊急時はすぐに電話で連絡をとっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>家族の了解を得て、出納帳の1ページ分が終了した時点で家族の確認サインをもらうこととしており、コピーも渡している。</p>		
	8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>家族会は年2回(9月、12月)ホームの行事に合わせて開催している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>家族からの苦情が出た場合は、職員会等で話し合い、サービスの質の向上に役立てるよう取り組むこととしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  6カ月に1回、ユニット間での職員のローテーションを行っているが、全職員が夜勤対応しており、利用者18人全員との顔馴染みの関係はできている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。  ほとんどがユニット間の異動であるが、退職等ある場合は十分な引継ぎ期間をとるようにしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  パート職員も研修会に参加するなど、全職員に研修、会議等への参加の機会がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  研修内容を職員会で報告し、職員間で共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。  県内のグループホーム連絡協議会に加入し、研修会にも参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  宿毛市の保険介護課が開催する研修会に参加して交流を図るとともに、個々の管理者同士も交流している。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。  入所時に本人の生活歴、現状、意向等を把握し確認している。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。  本人や家族が事業所の見学を行っている。 <input type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。  管理者1人で行なっている。	○	面接は管理者のみでなく、複数の職員があたることにより、多角的に情報を収集することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者を自分の家族と思い、お互いに協働しながら一緒に生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>職員が利用者へ寄り添いながら、利用者の表情や態度から本人の思いを汲み取り、喜怒哀楽を共にするように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>自ら意向や希望を言う人がほとんどいないため、家族の話や以前の元気な時にできていた事などを基に、意向等の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族からの聞き取りや利用者の言動等から把握するようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>ケアプラン作成時は家族に意見や希望を聞き、介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3か月に1回見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>状況変化に応じて、介護計画を変更している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>1カ月に1回の定期通院は管理者が同行し、主治医とは常に相談できる関係を築いており、事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>外泊は基本的に家族が対応しているが、緊急時や通院介助等はほとんど職員が対応している。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>薬品情報提供書をファイルして保管し、受診結果も記録に残し、情報を共有している。家族には手紙で報告している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>医師、家族を交えて話し合いを行い、利用者及び家族のニーズに応えるようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>家族の意向を踏まえ、医師と連携を取りながら対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。  利用者個々の性格を把握し、さりげない言葉かけをしており、ケアを提供する中でプライバシーには十分配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。  職員会や勉強会で理解に努めており、個人情報の書類の管理等にも留意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。  一人ひとりのその日の気分などを把握し、レクリエーションやパズルなどの娯楽をしたり、のんびりして過ごしたりしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。  利用者のその日の気分や、思いを優先した生活支援を行っている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  できる人には食事の下準備や食後の下膳を手伝ってもらうなど、一緒に進めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  職員は利用者を介助しながら同じものを一緒に食べている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>現在午前中の希望者はなく、毎日午後から全員が入浴している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>全員が毎日入浴しているが、身体の状況によっては清拭対応をすることもある。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>野菜作りや調理の仕方など、経験や知恵を発揮してもらう場面がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>職員が2名一組で5つのクラブ(食事、おやつ、演芸、美化、レク)を作り、利用者の楽しみを作り出す働きかけをしている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>当初は馴染みの美容院等によく出かけていたが、現在は希望がほとんどない状況である。希望があれば出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>外出できるレベルの利用者が少ないが、外出を大きさに考えず、できるだけ近場や毎日の買い物時に外出するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>年2回の遠足、毎日の買い物等、希望者は一緒に出かけている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外部の人が来やすいように、玄関を開放しており、外出傾向のある利用者には、後から見守りながら支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 隣家は少し離れているが、警察署、消防署、地域の方々に、連絡や声かけをしてもらえるよう依頼している。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 消防防災訓練は年1回実施しているが、地域住民は参加していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食料・備品を準備している。 避難路の確保、消火器の点検、水、非常食料等の準備はできている。</p>	○	災害時には地域住民の協力が欠かせないので、避難訓練への参加、協力が得られるよう呼びかけ等を行うことを期待したい。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 チェック票で把握しており、特に夏場は脱水症にならないよう、普段の水分摂取の他に飲料水や果実を多めに摂るようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 アレルギーのある人には特に注意し、配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 栄養士が作成した献立を基に、嗜好や季節のものを加え対応している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>共用空間には畳、ソファを配置し、居心地の良い空間作りを心がけるとともに、衛生面や危険な物を置かな事にも配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。</p> <p>保育園児の絵や写真等を適度に飾り付けている。家庭的な雰囲気は壊していない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>家族が持参した季節の花を居間等に飾り、壁飾りにも工夫して季節感等を出している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>テレビ、ソファ、家族写真などを持ち込み、一人ひとりが自由に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>家族の協力があり、居心地のよい居室づくりをしている。</p>		